

地域の魅力海外発信支援事業

東日本大震災後の国際的風評被害対策として、輸入規制及び渡航制限の撤廃・緩和の働きかけと併せ、地方創生の一環として地方の魅力発信、県産品の輸出促進、観光促進等を支援する総合的なPR事業。

令和元年度「地域の魅力海外発信支援事業」実施実績

➤ 令和元年11月1日～12月27日

- ①中国各地の小売店(約700店舗)、EC(電子商取引)3社、日本料理店(20店舗)等が主催する日本産品のPR販促イベントや日本料理のフェアを「連携事業」としてとりまとめて実施。11の自治体が連携事業者とコラボレーションして参加した。
- ②統一ロゴ等を使用して、大使館SNS及び特設モバイルサイトでイベントの広報を実施。
- ③大使館SNS及びモバイルサイトでバーチャル懸賞イベントを開催。
- ④集中PRイベント(ブースターイベント)では、日本人の著名者やゆるキャラを招くとともに、各事業者によるブースでPRを実施。メディア等を通じて、日本産品の魅力を宣伝。



大使館SNSや特設モバイル
サイトでの広報



北京で行われた集中的PRイベント(ブースター・イベント)の様子



在外公館でのレセプション等における 日本産酒類の活用

【令和2年度政府予算額:91百万円】

日本産酒類の活用推進

- 在外公館では、任国要人との会食で提供したり、天皇誕生日祝賀レセプション等の大規模行事の際に日本酒で乾杯するなど、**日本産酒類を積極的にアピール**。東日本大震災後は、特に被災地の日本酒・日本ワインを積極的に活用。
- 外務省では、在外公館からの調達希望を受けてコンクール受賞酒等の日本産酒類を調達・送付。平成20年からこれまで**約143,700本の日本酒**を、また、平成20年から**約61,400本の日本ワイン**を送付。(令和元年10月末時点)
(平成30年度購送数は日本酒約23,300本、日本ワイン約9,800本。)
- 平成29年度より、焼酎・泡盛の調達・送付を開始。



自衛隊記念日レセプションにおいて、日本酒、
日本ワインを提供・紹介
(在インドネシア大使館、令和元年7月11日)



天皇即位祝賀カクテル・レセプションにおいて、
日本酒、日本ワインを提供・紹介
(在パプアニューギニア大使館
, 令和元年5月29日)



天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、
日本酒を提供・紹介
(在ベトナム大使館、平成30年12月4日)

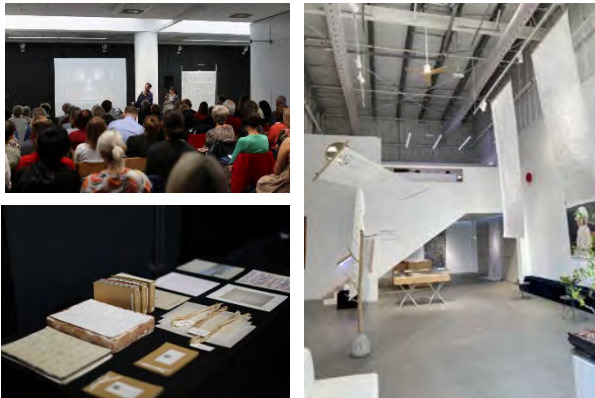
【事業概要】

- 伝統と革新，技術，デザイン，価値観等，幅広い分野で「日本ブランド」を体現する専門家を海外に派遣（各人2～3都市，1週間程度）し，講演会，実演，ワークショップ等を実施。日本の多様な魅力の発信を通じて，インバウンドの促進や国際交流の端緒を開くとともに，日本全体のブランド向上に繋げる。
- 平成30年度は，青森ねぶた，建築，庭園，陶芸，狂言，伊賀忍者，和菓子，飴細工，和包丁，ウイスキー，漫画，ファッションの専門家12名を延べ31都市に派遣。
- 今年度は，既に鉄道旅行，サイクルツーリズム，漫画，大相撲，温泉，和紙，盆栽，書道・茶道等の各専門家を派遣。今後，小型宇宙衛星，さらに2020年東京五輪に向けた気運醸成を目的に障害者スポーツの専門家を派遣予定。

和紙

令和元年10月16日～22日

派遣先：ポーランド（ワルシャワ），アラブ首長国連邦（ドバイ）



杉原吉直

（株）杉原商店代表

「和紙ソムリエ」として和紙の職人と様々な使い手とを結ぶ杉原氏が，和紙の用途をオーダーメイドでインテリアやデザインにも広げる，工芸の新しい取組を，展示も交えて発信。越前和紙の紙漉きの里・五箇地区の魅力も紹介。事後，アメリカン大学ドバイ校内の文具店にて和紙を扱う商談に繋がった。

盆栽

令和10月3日～14日

派遣先：米国（ワシントンDC，メンフィス，ナッシュビル，クリーブランド，コロンバス）



アダム・ジョーンズ

盆栽師

茨城県で盆栽園を営むジョーンズ氏が，講演や剪定の実演・ワークショップを通して，盆栽の魅力や楽しみ方を紹介。講演を行ったベルモント大学では，学生からの反響が特に大きかったことから，来年の同大学日本修学プログラムの日程に，ジョーンズ氏の盆栽園視察を加える方向で調整することになった。

漫画

令和元年5月18日～26日

派遣先：英国（ロンドン，リッチ）



萩尾望都

漫画家

大英博物館マンガ展の開幕に際し，「ポーの一族」等の代表作で知られる，漫画家の萩尾氏が編集者とともに，ジャパン・ハウス ロンドンやセインズベリー日本藝術研究所等にて少女漫画の魅力を発信。同マンガ展オープニングでは，展示された自らの作品の前でメディア・インタビューにも応じた。

主な世論調査の結果(平成30年度)

米国における対日世論調査

- 対日関係** 《ニールセン社に委託》
 - 一般の部:82%が日本は信頼できる友邦と評価
 - 有識者の部:90%が日本は信頼できる友邦と評価
- 最も重要なパートナー**
 - <一般の部>
 - 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:44%(カナダと同位で1位)(3位は英国43%)
将来:43%(1位)(2位はカナダ40%, 3位は英国37%)
 - アジアの中で最も重要なパートナーとして日本を選んだ割合
31%(1位)(2位は中国19%, 3位は韓国10%)
 - <有識者の部>
 - アジアの中で最も重要なパートナーとして日本を選んだ割合
45%(1位)(2位は中国21%, 3位は韓国14%)
- 平和国家としての日本の歩み**
 - 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを86%が評価

欧州5か国における対日世論調査

(英, 独, 仏, 伊, ハンガリー)

- 対日関係** 《IPSOSインドネシア社に委託》
 - 69%が日本と友好関係にあると評価
- G20参加国の中で、重要なパートナー**
 - 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:22%(7位)(1位は米国44%, 2位はEU42%, 3位はドイツ41%)
将来:26%(4位)(1位は米国及び中国36%, 3位はEU32%)
- 平和国家としての日本**
 - 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを78%が評価

カナダにおける対日世論調査

- 対日関係** 《IPSOSインドネシア社に委託》
 - 73%が日本と友好関係にあると評価
- G20参加国の中で、重要なパートナー**
 - 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:28%(6位)(1位は米国70%, 2位は英国45%, 3位はメキシコ37%)
将来:32%(6位)(1位は米国56%, 2位は中国43%, 3位は英国39%)
- 平和国家としての日本**
 - 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを76%が評価

ロシアにおける対日世論調査

- 対日関係** 《IPSOSインドネシア社に委託》
 - 71%が日本と友好関係にあると評価
- G20参加国の中で、重要なパートナー**
 - 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:23%(2位)(1位は中国65%, 3位はドイツ22%)
将来:21%(3位, ドイツと同位)(1位は中国57%, 2位はインド24%)
- 平和国家としての日本の歩み**
 - 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを79%が評価

中央アジア4か国における対日世論調査

(ウズベキスタン, カザフスタン, キルギス, タジキスタン)

- 対日関係** 《IPSOSインドネシア社に委託》
 - 64%が日本と友好関係にあると評価
- G20参加国の中で、重要なパートナー**
 - 現在/将来重要なパートナーとして日本を選んだ割合
現在:7%(4位)(1位はロシア64%, 2位は中国20%, 3位はトルコ9%)
将来:9%(4位)(1位はロシア51%, 2位は中国17%, 3位は米国11%)
- 平和国家としての日本**
 - 戦後70年の日本の平和国家としての歩みを68%が評価